

## 戸塚 哲夫 議員

### ラグビーW杯開催に向けた取り組みは

**問** 推進組織の立ち上げ時期や、その構成は。

**答** イングランドの大会終了後、袋井市スポーツ協会や国際交流協会の皆さん、経済界や教育分野の方たちとともに、ラグビーファンをより増やし、ラグビーを市民に認知してもらええるようにしていきたい。

**問** ラグビーW杯を千載一遇のチャンスと捉えて、今後のまちづくりに活かしていくべきでは。

**答** サッカーW杯の各校一國運動なども参考に、国際理解促進につながるイベント企画、袋井市らしさあふれるおもてなしをテーマとした事業の取り組みなどを通じて、ラグビーW杯をまちづくりに活かしていきたい。



地盤改良工事を実施した太田川堤防

### 太田川堤防の津波対策は

**問** 太田川堤防の耐震工事の内容と進捗状況は。

**答** かさ上げ対策は必要ないと判断されている。液状化対策については、袋井市側の太田川左岸の豊浜橋上流510m地点から河口までの1950mの計画区間について、地盤改良工法により堤防補強を実施しており、本年度末までに完了する予定である。

## 高橋 美博 議員

### 生活困窮者自立支援事業の実績は

**問** 制度施行から半年近く経過した。この間の相談者数、相談内容、支援実績はどうか。

**答** 8月末までの相談者数は65人。その内、病気や失業により生活に困っている人が32人、家賃を滞納している人が25人で約9割となっている。支援実績は、家賃相当額を一定期間支給する住居確保給付金が12件、社協が貸し付ける緊急小口資金等の申請が13件、他機関につないだものが40件であった。

**問** 市の他部署とも連携し、相談者の把握、総合相談窓口につなげるのが重要だが、どの部署が窓口を紹介したか把握しているか。

**答** 窓口をどこから紹介されたか聞き取っていないため、不明である。関係部署へ制度を周知し、協力を得ることは重要なので、連携を図っていききたい。

### 子どもの学習支援事業の実施を

**問** 「子どもの学習支援事業」の実施を強く望むが。

**答** 学習支援をはじめ、日常的な生活習慣、居場所づくり、進学に関する支援等、子どもと保護者双方に必要な支援を行う事業であり、貧困の連鎖を断ち切る有効な手段であると認識している。現在、実施方法などを検討している。



総合健康センターの総合相談窓口